

環境地理学科履修モデル

環境地理学科を構成する科目は、講義科目、実習科目、演習科目に大きく分けられる。講義科目においては、各分野の基礎的および専門的概念や知識を学び、実習科目においては各分野の観測・観察・実験方法と分析手法を取得し、そして、演習科目においては論文作成の実際を学ぶ。4年間の学修の集大成である卒業論文作成に向けて各科目をバランス良く順序よく計画的に履修することが求められる。

環境地理学科において、学ぶことのできる専門分野は、おおまかに人文・社会環境領域、自然環境領域、地誌・地域研究領域、地図・空間情報領域に分けられ、それぞれの領域毎に科目群も開講されている（次頁の履修モデル表を参照）。

1. 主に人文・社会環境領域を学ぼうとする場合

1年次において、「環境地理学概論及び調査法」と「専門入門ゼミナール」を履修し、人文地理学概論を中心に概論科目を履修する。また、「地理学エクスカッション」を受講し野外観察の仕方を学ぶ。2年次において、人文・社会環境領域を中心として講義科目を受講し、実習科目では、人文環境学調査法を受講する。必要に応じて地図・空間情報領域の実習を受講する。また、「野外調査法1」を受講し野外調査の手法を習得する。3年次になると、人文・社会環境領域の「ゼミナール1」に所属し、卒業論文作成の準備を始める。専門領域の講義をさらに取得し、「野外調査法2」により野外調査の技能をさらに高める。4年次には、「ゼミナール2」に所属し、卒業論文作成に至る。

2. 主に自然環境領域を学ぼうとする場合

1年次において、「環境地理学概論及び調査法」と「専門入門ゼミナール」を履修し、自然地理学概論を中心に概論科目を履修する。また、「地理学エクスカッション」を受講し野外観察の仕方を学ぶ。2年次において、自然環境領域を中心として講義科目を受講し、実習科目では、自然環境学調査法を受講する。必要に応じて地図・空間情報領域の実習を受講する。また、「野外調査法1」を受講し野外調査の手法を習得する。3年次になると、自然環境領域の「ゼミナール1」に所属し、卒業論文作成の準備を始める。専門領域の講義をさらに取得し、「野外調査法2」により野外調査の技能をさらに高める。4年次には、「ゼミナール2」に所属し、卒業論文作成に至る。

3. 主に地誌・地域研究領域を学ぼうとする場合

1年次において、「環境地理学概論及び調査法」と「専門入門ゼミナール」を履修し、地誌学概論を中心に概論科目を履修する。また、「地理学エクスカッション」を受講し野外観察の仕方を学ぶ。2年次において、人文・社会環境領域を中心として講義科目を受講し、実習科目では、人文環境学調査法を受講する。必要に応じて地図・空間情報領域の実習を受講する。また、「野外調査法1」を受講し野外調査の手法を習得する。3年次になると、地誌・地域研究領域の「ゼミナール1」に所属し、卒業論文作成の準備を始める。専門領域の講義をさらに取得し、「野外調査法2」により野外調査の技能をさらに高める。4年次には、「ゼミナール2」に所属し、卒業論文作成に至る。

4. 主に地図・空間情報領域を学ぼうとする場合

1年次において、「環境地理学概論及び調査法」と「専門入門ゼミナール」を履修し、概論科目を幅広く履修する。また、「地理学エクスカッション」を受講し野外観察の仕方を学ぶ。2年次において、地図・空間情報領域を中心として講義科目を受講し、実習科目では、地理情報システム実習やリモートセンシング実習を受講し、必要に応じて人文・社会環境領域、自然環境領域の実習も受講する。また、「野外調査法1」を受講し野外調査の手法を習得する。3年次になると、地図・空間情報領域の「ゼミナール1」に所属し、卒業論文作成の準備を始める。専門領域の講義をさらに取得し、「野外調査法2」により野外調査の技能をさらに高める。4年次には、「ゼミナール2」に所属し、卒業論文作成に至る。

なお、上に述べた履修モデルの如何にかかわらず、卒業要件は学科全体で同一である。

※「履修モデル」はあくまで目安として、履修登録をする際には、必ず入学年度の学修ガイドブックに記載されている、自身が所属する学科の「社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧」、「専門科目一覧」で卒業要件が満たせる計画であることを確認すること。

	分野	1年次	2年次	3年次	4年次	
講義科目	概論	環境地理学概論及び調査法				
		人文地理学概論 1				
		人文地理学概論 2				
		自然地理学概論 1				
		自然地理学概論 2				
		地誌学概論				
	人文・社会環境			都市環境学 1		
				都市環境学 2		
				農村環境学 1		
				農村環境学 2		
				歴史環境学 1		
				歴史環境学 2		
				社会環境学 1		
				社会環境学 2		
				文化地理学		
	経済地理学					
	地誌・地域研究			地誌学 1		
				地誌学 2		
				地域研究 1		
				地域研究 2		
				地域研究 3		
				地域研究 4		
	自然環境			地形環境学 1		
				地形環境学 2		
				気候環境学 1		
				気候環境学 2		
				地域生態学 1		
地域生態学 2						
地図・空間情報			環境地図学 1			
			環境地図学 2			
			空間情報学 1			
			空間情報学 2			
			測量学			
			応用測量学			
特殊講義			環境地理学特殊講義A			
			環境地理学特殊講義B			
			環境地理学特殊講義C			
実習・演習科目	人文・社会環境			人文環境学調査法 1		
				人文環境学調査法 2		
				人文環境学調査法 3		
				人文環境学調査法 4		
				人文環境学調査法 5		
	自然環境			自然環境学調査法 1		
				自然環境学調査法 2		
				自然環境学調査法 3		
	地図・空間情報			地理情報システム実習 1		
				地理情報システム実習 2		
				リモートセンシング実習 1		
				リモートセンシング実習 2		
				測量学実習		
	野外実習	地理学エクスカージョン				
				野外調査法 1	野外調査法 2	
ゼミナール	専門入門ゼミナール					
			ゼミナール 1	ゼミナール 2		
卒業論文					卒業論文	

<地域調査士>

太字科目（自然地理学概論 1 など）の中から所定の単位数を取得し、地域調査士講習会を受講することで、地域調査士の認定申請をすることができます。

<GIS学術士>

下線科目（地理情報システム実習 1 など）の中から所定の単位数を取得し、GIS による分析を利用した卒業論文を執筆することで、GIS学術士の認定申請をすることができます。

<測量士補>

国家資格「測量士補」は本学科を卒業し、各自が申請手続きをすることで、取得することができます。

※なお、これらの資格認定科目については、年度によって変更がある場合があるので留意のこと。